

日本ボツリヌス治療学会ワークショップ in 東京 プログラム

日時：2023年7月16日（日）12：30～17：05

会場：TKP品川カンファレンスセンターANNEX ホール1

時間		講演テーマ	役割者
12：30～12：35	5分	開会挨拶	挨拶：正門 由久先生（東海大学）
12：35～13：30	55分	痙縮に対する治療戦略 【共催セミナー:グラクソ・スミスクライン株式会社】	座長：正門 由久先生（東海大学） 演者：原 貴敏先生（NCNP）
実践！チーム医療で取り組む脳卒中後痙縮治療			司会：川手 信行先生（昭和大学）
13：30～14：00	30分	痙縮に対するボツリヌス治療の効果を高めるポイント ～治療目標設定・筋同定・施注単位数など～	演者：川上 途行先生（慶応義塾大学）
14：00～14：30	30分	脳卒中後痙縮治療における療法士の役割 ～リハビリテーション指導のポイント～	演者：高橋 忠志先生（荏原病院 理学療法士）
14：30～15：15	45分	リハビリテーション医療とボツリヌス治療 ～歩行障害における痙縮と装具～	演者：川手 信行先生（昭和大学）
休憩（15分）			
ハンズオンセミナー			司会：正門 由久先生（東海大学）
15：30～17：00	90分	ハンズオンセミナー（ポータブルエコー使用） 上肢／下肢	講師：児玉三彦先生（東海大学）
17：00～17：05	5分	閉会挨拶	挨拶：正門 由久先生（東海大学）

